

Recent progress in theoretical physics based on quantum information theory での発表

理学系研究科物理学専攻博士 2年 飯野隼平

私は2020年に3ヶ月間の中国滞在を予定していたが、コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、渡航は無期限延期となった。その代わりとして、2021年3月1日～5日に行われたオンライン国際会議「Recent progress in theoretical physics based on quantum information theory」における講演でもって、ALPS コースワークの義務の消化を行った。

この研究会の趣旨は「量子重力・量子情報・物性の融合」であった。私は物性物理の観点から「テンソルネットワーク」や「共形場理論」を研究しているが、AdS/CFT 対応や量子計算と言った関連分野の講演を集中的に聴くことができ、大変刺激を受けた。自らの発表に関しても異分野の研究者の方と議論を行うことができ、新しい方向性についていくつかのアイデアを得ることができた。

最後に、お世話になった研究会世話人の方々、ALPS 事務局、そして指導教員の川島教授に、この場を借りて感謝申し上げたい。

オンライン発表を行う様子